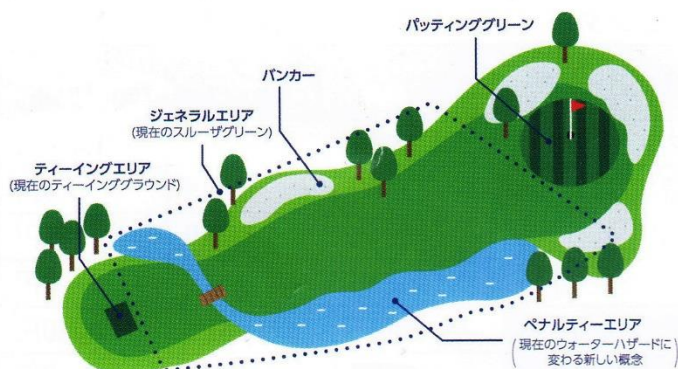


2019 規則改正一部

◆コースの名称



◆プレーヤーの行動

第1条にプレーヤーの規範として、今後もプレーヤー自身が誠実でなければなりません。今回のルール改正でマーカーや同伴者の同意が無くても良くなった部分が多くなり、今まで以上に自分に嘘をつかない誠実な判断をし、より一層自分に厳しくし、他人への配慮を怠らないこと、他の人のことを考えてプレーすることとなりました。(タフは必ず戻す、バンカーは丁寧にならず等) (スロープレーとしない様に注意する。)

◆速やかなプレー

40秒以内にストロークをしましょう(通常はそれより速くプレーできるはずです)。持ち時間が40秒あるという事ではありません。ストロークプレーでは、安全が確保できるのであれば、準備ができたプレーヤーから先に

プレーすることもできます。

相手に「先に打つよ」と声をかけるなどし、勝手にプレーしないこと。(マナー・モラルの問題ですよ！)

◆バンカー内のルースインペディメント

罰なしに、取り除くことができます。ルースインペディメントとは、石・木・葉など(根がついていないもの)

◆リプレースする箇所が分からない

規則に基づいて球をリプレースする元の位置が分からない場合は、推定してリプレースをします。

◆ドロップの方法

ドロップするボールに回転をかけたり、転がしてはならない。(プレーヤーにあたってもだめ)

膝の高さからドロップします。

膝の高さとは、真っすぐに立ったときの膝の高さです。

誤ったドロップは無罰で再ドロップ

◆地面にくい込んだ球の救済

ジェネラルエリア全域で救済が認められます。

- ・基点は球の直後の地点。
- ・球は交換もしくは拭くことができる。

◆紛失球

球を捜索してから3分以内に球が見つからなければ、紛失球となります。

